

## なのはな米1等比率95%以上を目指そう!!~「R5 JAなのはな米品質向上運動」実施中~

○5月4半旬からの好天もあり、初期分けつの発生にはほ場差はありますが、水稻の生育は概ね順調です。ほ場の生育状況を確認し、**水管理を中心に適切な栽培管理を行いましょ**う。

中干しは田面に小さな亀裂が入る程度を目安に実施!



### コシヒカリの生育状況

草丈・茎数・葉齢・葉色：平年並み

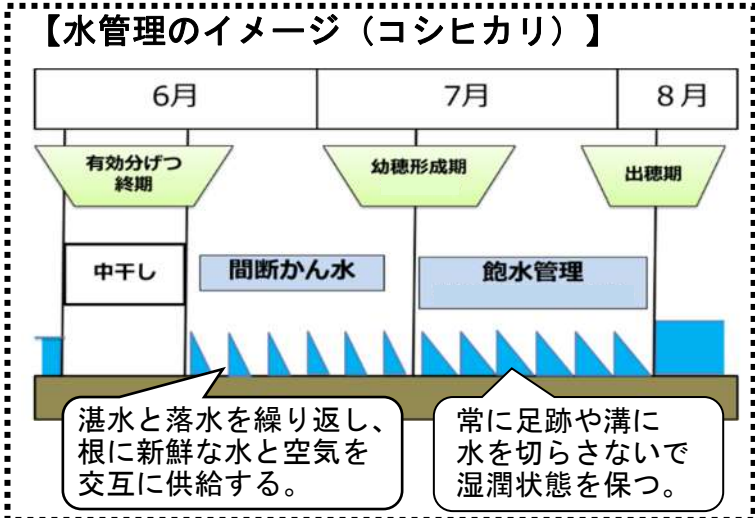
【コシヒカリの生育調査結果】 なのはな農協管内生育基礎ほ(8カ所) 6月12日調査

	田植日	草丈	株当り茎数	m <sup>2</sup> 当り茎数	葉齢	葉色
R5平均	5月12日	35.3cm	18.3本	357本	8.5	4.2
平年	5月11日	36.0cm	20.0本	378本	8.6	4.3

※平年 平成25~令和4年の平均値

## 1. 中干し後の水管理

- ・中干し後は「**間断かん水**」を行い、土中のうわ根をしっかりと伸ばすとともに、**幼穂形成期頃までに足跡の深さが3cm沈む程度のかたさに仕上げ**ましょう。
- ・葉色の急激な低下を防ぐため、中干し後の間断かん水は乾かしすぎないように注意しましょう。
- ・ただし、生育量が多い場合は、過剰籾数や倒伏を防ぐため、強めに田干し(落水期間を長く)しましょう。



## 2. てんたかくの穂肥施用(分施肥系の場合)

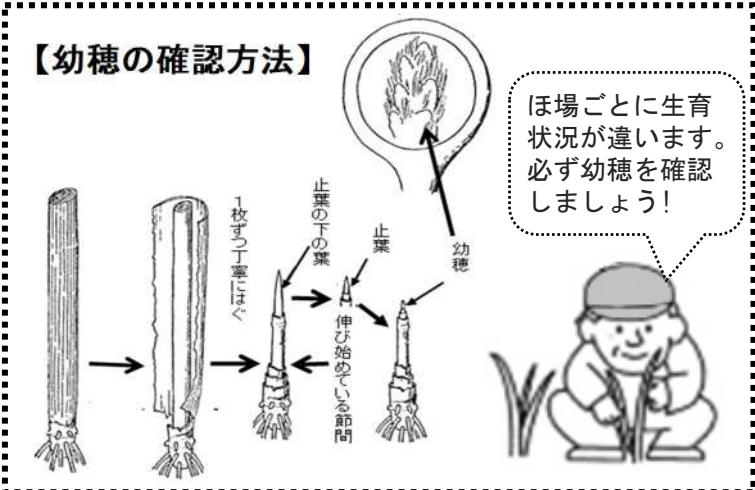
てんたかくの生育進展は、ほ場間差はありますが概ね平年並みです。穂肥の前に**幼穂長や葉色を必ず確認**して、遅れずに施用しましょう。

○穂肥の施用時期及び施用量の目安(5月連休植の場合)

穂肥	施用時期	肥料名	10a当り施用量
1回目	6/23~26 (幼穂長1~2mmの時期)	追肥3号	10kg
2回目	1回目の10日後		12~13kg

※不明な場合は、営農指導員や普及指導員にご相談ください。

◎基肥一発肥料を使用したほ場では、追加穂肥は原則不要です(過剰な追加穂肥は稈長が伸長し、倒伏を助長します)。



## 3 草刈りの徹底

- ・畦畔等のイネ科雑草の穂は、カメムシ類の好適なエサとなります。穂が出ないように草刈りを徹底し、地域全体でカメムシ類の発生源を少なくしましょう。
- ・水田内のノビエやホタルイは、アカスジカスミカメの産卵場所となります。水田内に雑草が繁茂しないよう除草に努めましょう。
- ・麦あとほ場では積極的に大豆、園芸作物、緑肥等を栽培し、雑草が繁茂しないよう管理しましょう。また、麦あとに作物を作付けしないほ場では、早めに草刈りや耕起を行いましょう。



水田畦畔等の草刈り運動実施期間：7月1日~1日  
 <一斉草刈り日：7月1日(土)~2日(日)>

- <草刈り時の注意点>
- ★作業前に草刈機の点検をしましょう。
  - ★草刈機によるケガに十分注意し、草刈中、近くを人や車が通過する場合がありますので、小石等が飛散しないよう注意しましょう。
  - ★刈った草を用排水路に流したり、燃やしたりしないでください。
  - ★草刈りで道路を汚したら、すみやかに片付けましょう。

<主な斑点米カメムシ類>

アカヒゲホン アカスジカスミカメ トゲシラホン クモヘリカメ  
 ミドリカスミカメ カメムシ

農作業の際は、こまめな水分・塩分補給や適切な休憩など、熱中症対策を徹底しましょう!